

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					10063	家庭教育ふれあい事業					教育委員会	中央公民館
1 事業概要		中事業番号		1727									所属コード	541000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図（目的）		
大綱（取組）	Ⅲ「学び育む子どもたちの未来」	4.2 17.17	○	6-3							・子育てサポーター（活動支援者）の設置 ・子育てサポーター養成講座の実施 ・「のびのび子育て広場」の開設 ・公民館スペース開放事業（はやママサロン）の実施	・地域において、子を持つ親同士の仲間づくりを支援する子育てサポーターの育成を図る ・小さな子を持つ親の不安解消に努めるため、子育てに関して気軽に集まることができる環境（場）を整える		
施策	4 子どもたちが学びたいことを楽しく学び、地域で活躍できるまち													

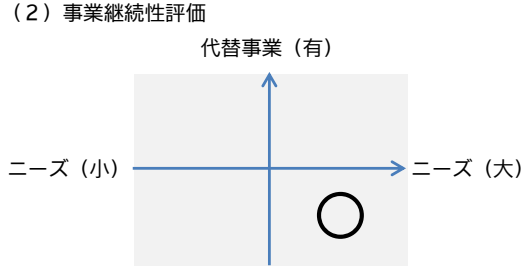
事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
少子化・核家族化の影響により子育てに不安を抱えている親も多く、子どもを安心して生み育てる環境を整備する必要がある。		小さな子どもを持つ親からは、親子で遊んだり情報交換できる居場所やネットワークづくりが求められている。他の機関においても子育て講座や遊び場の整備は行われているが、周辺地域に密着した事業は少ない。		子育ての孤立化を防ぐため、子を持つ親の教育・仲間づくり（地域づくり）が必要となってくる。		同じ世代の子を持つ親同士が交流し、情報交換できる場所の提供と親子で楽しめる「遊び」や子育てに関するアドバイスを受けたいと望んでいる。	

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2022年度	最終指標 2025年度
対象指標	就学前の子どもとその保護者	組		16,279		16,279		15,386								
活動指標①	のびのび子育て広場の開催回数	回	40	48	40	48	48	48	48		48		48	48		
活動指標②	公民館スペース開放事業（はやママサロン）の実施回数	回	40	48	40	47	48	49	48		48		48	48		
活動指標③	子育てサポーター数	人	15	13	15	12	15	13	15		15		15	15		
成果指標①	子育てサポーター養成講座出席率	%	100	92	100	90	100	92	100		100		100	100	100	100
成果指標②	のびのび子育て広場参加者組数	組	800	366	800	376	500	476	500		500		500	500	800	800
成果指標③	公民館スペース開放事業（はやママサロン）の参加者組数	組	300	320	300	338	300	366	300		300		300	300	300	300
単位コスト（総コストから算出）	のびのび子育て広場参加組数1組当たりのコスト	千円		8		7		6.0	6.3		6.3		6.3	6		
単位コスト（所要一般財源から算出）	のびのび子育て広場参加組数1組当たりのコスト	千円		5		6		5.1	5.4		5.4		5.4	5		
事業費		千円		943		891		981	1,292		1,292		1,292	1,292		
人件費		千円		1,834		1,655		1,883	1,834		1,834		1,834	1,834		
歳出計（総事業費）		千円		2,777		2,546		2,864	3,126	0	3,126	0	3,126	3,126		
国・県支出金		千円		943		297		436	430		430		430	430		
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		1,834		2,249		2,428	2,696	0	2,696	0	2,696	2,696		
歳入計		千円		2,777		2,546		2,864	3,126	0	3,126	0	3,126	3,126		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
・「のびのび子育て広場」は、0歳児（1広場）14組、1歳児（2広場）24組、未就学児（1広場）14組の4広場を各12回の計48回開催し、また、公民館スペース開放事業「はやママサロン」は、中央公民館託児室を会場に49回開催。どちらも計画値を上回って実施し、多くの親子が参加した。 ・子育てサポーターは、13人を委嘱。企画会議12回、養成講座2回を実施し、サポーターの資質向上を図った。		・子育てサポーター養成講座出席率は計画値を下回っているが、欠席者へは後日講座内容を共有し、活動につなげている。 ・のびのび子育て広場参加組数は、コロナ禍を経てほぼ計画値と同じとなった。 ・スペース開放事業「はやママサロン」は、計画値を上回る366組の参加があった。		【事業費】 事業への参加人数増加に伴い「のびのび子育てサポーター」報償費が増となった。	
				【人件費】 担当職員人件費の単価増。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価				
1 規模・方法の妥当性		4		
2 公平性		3		
3 効率性		4		
4 活動指標（活動達成度）		4		
5 成果指標（目的達成度）		4		



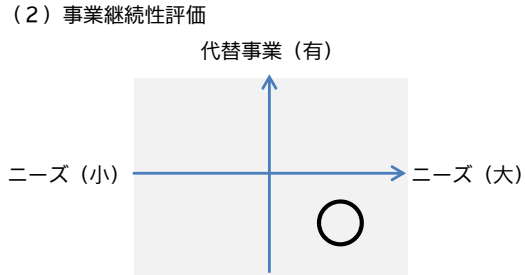
継続	一次評価コメント
「のびのび子育て広場」、「はやママサロン」いずれも計画値、またはそれ以上の参加をいただいた。 様々な媒体による広報や参加者からの口コミ等もあり両事業とも認知度が向上するとともに利用者のリピート・定着率も高い。 また、「のびのび子育てサポーター」については、今後も子育ての情報交換や仲間づくりの場を提供する家庭教育支援の担い手の活動の場として継続して事業を実施する。 なお、事業の継続に当たっては、担当する子育てサポーターの充実は必須なため、引き続き養成講座等で資質向上及び人員の確保に努める。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
	○				

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価				
1 規模・方法の妥当性		4		
2 公平性		3		
3 効率性		4		
4 活動指標（活動達成度）		4		
5 成果指標（目的達成度）		4		



継続	二次評価コメント
令和6年度はのびのび子育て広場の開催及びはやママサロンを計画通り実施した。広報や口コミを活用した参加者増加の工夫によって、参加者数は増加傾向にある。 子育てサポーター養成講座の出席率が計画値を下回ったが欠席者へのフォローアップを行い、家庭教育支援の質の向上に繋がった。継続的に育成を行っていることから、子育てサポーターの自主的な活動が活発となり、活動内容を企画するなど、本事業において大きな役割を果たしている。 今後においても、親同士の仲間づくりを支援する子育てサポーターの育成及び子育てに不安がある親が気軽に集まることができる環境を整備するため、継続して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画